

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係わる方法に準じた会計処理によっている。

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金 職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(3) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	103,000,000	0	0	103,000,000
小計	103,000,000	0	0	103,000,000
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	103,000,000	0	0	103,000,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 定期預金	103,000,000	103,000,000	0	0
小計	103,000,000	103,000,000	0	0
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	103,000,000	103,000,000	0	0

4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
コンベンション事業補助金	長野市	0	45,000,000	45,000,000	0	-
観光振興事業補助金	長野市	0	82,300,000	82,300,000	0	-
長野市運営補助金	長野市	0	91,804,632	91,804,632	0	-
合計		0	219,104,632	219,104,632	0	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

一般会計		(単位：円)	
科 目	前期末残高	当期末残高	
現金預金	23,636,534	38,891,241	
未 収 金	45,815	202,565	
合 計	23,682,349	39,093,806	
未 払 金	19,172,900	31,315,368	
預 り 金	440,354	428,418	
合 計	19,613,254	31,743,786	
次期繰越収支差額	4,069,095	7,350,020	

開催準備金貸付特別会計		(単位：円)	
科 目	前期末残高	当期末残高	
現金預金	1,000,000	1,000,000	
合 計	1,000,000	1,000,000	
次期繰越収支差額	1,000,000	1,000,000	